

2019年度 入学試験解答用紙〔社会〕(35分)

第1回 2月1日実施
吉祥女子中学校

1

問1	問2			
エ	ア			
問3				
「シルクロード」を通じて西アジアの文化が中国に伝わったから。				
問4	問5	問6		
ウ	切通し	ア		
問7		問8	問9	
入鉄砲に出女		ウ	エ	
問10		問11		
渋沢栄一		ア		
問12	問13	問14	問15	
ウ	イ	エ	イ	

【解答例】

2点×11 22
1点×4 4

2

問1	問2	問3	問4	問5	
エ	イ	ウ	ア	裁	培 漁 業
問6	問7	問8			
オ	ウ	2 月 1 日 午 前 2 時			
問9			問10	問11	
コールドチェーン			エ	エ	
問12	問13	問14	問15		
ア	ウ	イ	ア		

2点×11 22
1点×4 4

3

問1										
身近な問題に取り組み、政治を考える能力を養えるから。										
問2	問3	問4	問5							
エ	イ	イ	ア							
問6			問7	問8						
経	済	連	携	協	定	エ	三	権	分	立
問9	問10									
ウ	ア									

【解答例】

2点×8 16
1点×2 2

受験番号	氏 名
	模 範 解 答

得 点 70

〔記述式解答の採点について〕

第1回

※設問文には「1行で説明しなさい」とあります。採点のポイントを満たしていても、解答が長くなってしまい2行にまたがった場合は、一切採点の対象とはなりません。設問文をよく読んで、要求されている条件を必ず守って解答する必要があります。

1 問3

【模範解答例】

「シルクロード」を通じて西アジアの文化が中国に伝わったから。(2点)

【採点のポイント】

- ①地図上のイラン、ウズベキスタン、中国を結ぶ交通路がシルクロードであることを指摘できているか(1点)
- ②ペルシア(西アジア)の文化が中国に伝わったことを説明できているか(1点)
⇒ここで要求されていることは、ペルシア(現在のイラン)でつくられた水差しと、中国でつくられた漆胡瓶や鳳首瓶の形が、なぜ似ているのかを説明することです。そのときに、「ペルシア風の水差しがつくられた場所の位置関係をふまえ」る必要があります。三つの国の地図上の位置関係と自分の知識とを関連させて、これらの国をつないだルートを通じて、ペルシアの文化が中国へ伝わってきたことに気づけるかを確認する問題です。
⇒まず地図を見て、ペルシア風の水差しがつくられた場所であるイラン、ウズベキスタン、中国を線でつなぎます。すると、そのルートが「シルクロード(絹の道)」と呼ばれる交通路にかさなることに気がつきます。
⇒また、中国でつくられた漆胡瓶や鳳首瓶が「ペルシア風の水差し」と言われていることから、これらの水差しがペルシアの水差しの影響を受けていることが推測できます。ここで、なぜ中国がペルシアの水差しと似た形のものをつくることができたのかを考えます。それは、シルクロードを通じて行われたペルシアと中国との文化交流において、水差しのデザイン(形)がペルシアから伝わり、中国がそれを参考にしたからだと考えられます。なお、「渡来人が日本に文化を伝えた」という誤った解答がありました。渡来人は、4～7世紀ころに中国や朝鮮半島から日本へ渡ってきた人々のことを指します。ペルシアから中国に水差しのつくり方が伝わることは関係ありません。問題で問われていることが何かを正確に読み取り、その要求に対応した答えを考えることが必要です。

【部分点を与えた解答例】

ペルシアの水差しが①シルクロードを通じて、中国や日本に運ばれたから。(1点)

⇒この例では、シルクロードについて指摘しているので部分点を与えました。しかし、ペルシアの水差しそのものが中国に運ばれたことを指摘しただけです。なぜ同じような形の水差しがつくれたのかという理由である、「文化(形など)が伝わった」という点を説明できていませんので、満点の解答にはなりません。

【得点を与えなかった解答例】

イランから日本へと伝わってきたから。

⇒この例は、地図上の国の位置関係をふまえたものにはなっていませんし、日本について説明しています。問題で問われているのは、中国とペルシアの水差しの関係ですから、日本は関係ありません。また、主語が抜けており、何が伝わったのかについても読み取れない解答でしたので、得点を与えませんでした。

〔記述式解答の採点について〕

第1回

3 問1

【模範解答例】

身近な問題に取り組み、政治を考える能力を養えるから。(2点)

【採点のポイント】

- ①学びの場として地方自治を理解しているか(1点)
⇒「民主主義の学校」ということの意味の説明を求めていますから、どのような点が「学校」と言えるのかを答えてもらう必要があります。学校という場が学びの場であることを考えると、地方自治を通して、民主主義や政治のことについて学ぶことができるということが示されていれば点を与えています。
- ②身近な問題を取り扱うことを地方自治の特徴として捉えられているか(1点)
⇒地方自治のどのような特徴を通して民主主義を学ぶことができるか、という点が書けているかが大切です。たとえば「地方の政治をその土地に住む人が行う」というように、「地方自治」という言葉を単純に言い換えるだけでは解答として不十分です。国政にはない地方自治の特徴として、住民にとって身近な問題を扱うという点を示すことができれば点を与えています。

【採点のポイント①について部分点を与えた解答例】

民主主義という考えを身につける場だから。(1点)

⇒民主主義や政治のことについて学ぶことができるという点は示されていますが、住民にとって身近な問題を扱うという点が示されていません。

【採点のポイント②について部分点を与えた解答例】

自分により身近な政治を扱っているから。(1点)

⇒身近な問題を扱うという点は示されていますが、民主主義や政治のことについて学ぶことができるという点が示されていません。

【得点を与えなかった解答例】

自分の住む地域のことを自分たちで治めることができるから。

⇒民主主義や政治のことについて学ぶという要素が書かれていません。また、地方自治の言い換えになってしまっており、地方自治の特徴を説明しているわけではないため得点を与えませんでした。